

社会福祉法人伸こう福祉会 

報告対象期間 2016年3月から2017年4月
発行 2017年4月
発行責任者 足立 聖子

本誌へのお問い合わせ

伸こう福祉会 総合案内所 勘里絵利奈
〒247-0014 神奈川県横浜市栄区公田町251-6
TEL: 045-890-6116 FAX: 045-890-6115
<http://www.shinkoufukushikai.com>



SHINKO FUKUSHI KAI ANNUAL REPORT 2017

目次

理事長メッセージ ...P3

私たちの理念 ...P4

ハイライト：中期計画Ⅱ期【「地域」との協働】

品質方針「外に出よう」...P6

新規施設の開所 ...P11

伸こう福祉会の事業 ...P12

保育事業：次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援...P14

地域ケアプラザ事業：地域の福祉・保健の拠点...P16

介護事業：介護についてのお困りごとの相談処...P17

介護事業：ご自宅にしながら利用できる介護サービス...P18

介護事業：最期の時まで暮らしを提供するサービス...P20

DATA...P22

CSRに基づく伸こう福祉会の取り組み ...P27

1.お客さまとともに...P28

2.地域社会とともに...P29

3.ビジネスパートナーとともに...P30

4.スタッフとともに...P31

5.自然環境の中で...P32

メディア掲載一覧 ...P34

外部主催の講演会・コンテストへの参加 ...P35

財務ハイライト ...P36

施設一覧 ...P38

ISO26000中核主題対照表/
ご寄付のお願い ...P47

本報告書では、社会的責任の国際規格ISO26000における7つの中核主題（右図）の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。主題と報告事項との関連については、P.30をご参照下さい。

MESSAGE
FROM EXECUTIVE HEAD2017年、障害と共に生きる子供、
大人、そして高齢者を支える
新たな事業を作ります。

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催があと3年後に迫ってまいりました。この「世紀のイベント」は、わが国に様々な意味で、「変革」をもたらすと私は考えております。

オリンピックを控え、最近では日本のあらゆる場所で海外からの観光客を見かけるようになりました。

外国からのお客さまは、日本の美しい四季折々の風景を映像にとらえ、繊細かつ美しい伝統工芸に驚き、食事を楽しみ、そして私たちの日常では多くの「あたりまえ」である多くのことを「素晴らしい」と褒めて下さいます。そんな外国の方々の視点から、改めて私たちは自分たちの「よいところ」に気づき、同時に足りない部分を知ることができます。私たちの法人も例外ではなく、昨年は大変多くの海外からの訪問者をお迎え致しました。

日本人の持ち味であり、また福祉現場の特徴ともいえる「真面目さ」「清潔」「勤勉」「協調」は、そういったゲストの皆さまに高く評価していただき、逆に「個の尊重」「自立支援」などの面では、日本のケアにはまだまだ課題が残ることを知りました。

パラリンピックの開催によって、日本は「真のバリアフリー社会」に向かいます。障がいや病と共に生きながら、自分の持つ能力を限界まで鍛え、挑戦しつづけるアスリートたちや、その挑戦を支える家族や支援者の姿と出会うことで、私たちは国が提唱している「一億総活躍社会」が決して絵空事ではないことを知ります。そんな時代において、伸こう福祉会は2017年度、障がいと共に生きる子ども、大人、そして高齢者を支える新たな事業をつくります。

かかわる人々が「人生とはよきもの」と感じられる場所となる…そんな大きな夢をかなえるべく、始まる私たちの挑戦に、どうぞふたたび皆さまのお力をお貸しください。

社会福祉法人 伸こう福祉会
理事長

足立聖子

PRINCIPLE

たくさんのよきものを人生の先輩たち、 後輩たち、そして地域に捧ぐ

私たちは、「保育」と「介護」という仕事を通じて、
お客さまの人生の「最初」と「最後」の
お手伝いをさせていただいています。
2016年度は、新たに障がいを持った方への
お手伝いも始めました。

「自分が選んだ場所で、社会とともに成長をし、
自分が選んだ最後を迎えられる」こと。
それが、私たちが考える「しあわせ(福祉)」であり、
私たちができるお手伝いの目指すところです。

「たくさんのよきもの」を、私たちに関わって下さる皆さまに捧げることで、
その方がより「しあわせ(福祉)」な生活を送れるように。
そんな思いの中で取り組んだ、
2016年度の活動をご報告いたします。



中期計画Ⅱ期「地域」との協働

外に出よう

品質方針

LET'S GO OUTSIDE

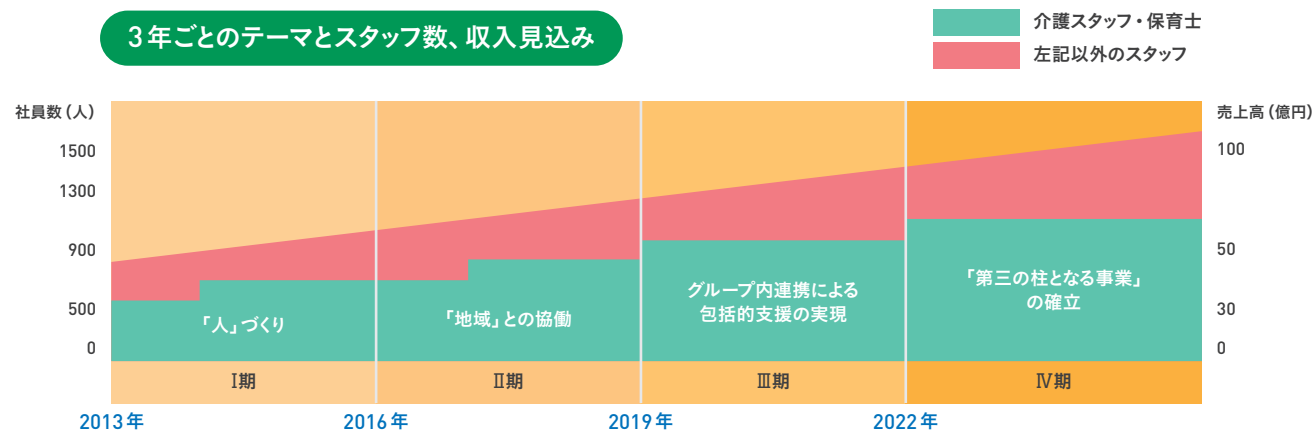
迫る「2025年問題」を見据え、伸こう福祉社会では2013年に中期計画を策定しました。

I期のテーマであった【「人」づくり(スタッフの育成)】を土台に、2016年度から始まるⅡ期で重点的に取り組んでいくのは、【「地域」との協働】です。

お客さまも、スタッフも、事業所の中がすべてではなく、「地域」の中で暮らしています。

当たり前ではあるのですが、今一度初心に返り、来期に繋がる足掛かりをつくった一年でした。

3年ごとのテーマとスタッフ数、収入見込み



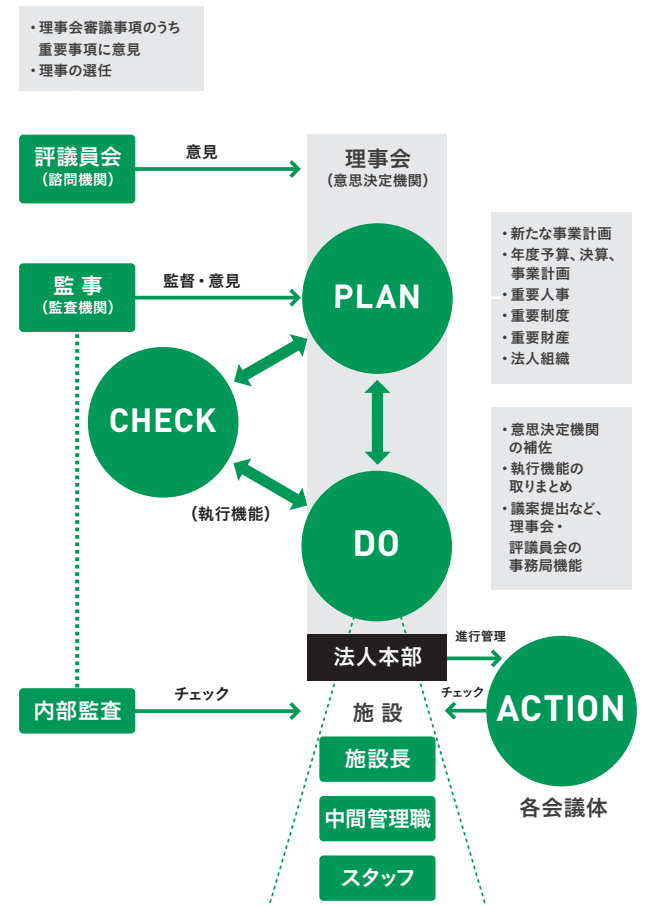
「経営計画書」を用いて方針を共有する

毎年度、法人の理念や守るべき約束、今期の実行計画や予算を記した「経営計画書」を作成しています。経営計画書(Plan)を基に、サービスを実行し(Do)、監査によるチェック(Check)の上、各会議体において、サービスの改善に励んでいます(Action)。本レポートは、「第19期 経営計画書」に基づき報告を行うものです。

「品質方針」の明確化と伝達

基本理念を実践するための方針をまとめた冊子「2016年度品質方針書『Staff Book 2016』」を制作し、常勤・非常勤を問わず全スタッフに配布しました。本書には、その年度に重点的に取り組む品質方針や、伸こう福祉会のスタッフとして必ず守ってもらいたいこと、業務の基準などが記されています。

中期計画テーマ【「地域」との協働】の初年度である2016年度の品質方針は、「外に出よう」です。スタッフ自らが「外に出て」地域の情報を集め、お客さまを「外に連れ出して」地域との繋がりを体験する。今年度、「とにかくまず一歩外に出てみる」ことで体感したことを、次年度では明確にし、仕組みとしてつくっていきます。



何をすべきか? 5つの例

- 1 ご利用者様と一緒に施設の外に出よう
- 2 外(地域)とつながろう。
- 3 施設の外(研修)に出て学ぼう
- 4 外(世界中)から、より良いケアになることを取り入れよう
- 5 外(福祉以外の業界)に出よう

中期計画Ⅱ期「地域」との協働

外に出よう

品質方針

LET'S GO OUTSIDE

組織としても、「外に出よう」

2016年度は、「伸こう福祉会」としても「外」に出た一年でした。これまでの「高齢者介護」事業、「保育」事業の枠組みの外に出て、「障がい者支援」事業に取り組んだこと。日本国内から外に出て、海外が持つ「よきもの」を集めるネットワークを構築したこと。これらの新しい取り組みは既存の事業にも良い影響を与え、相互に関連しながら、社会福祉法人としてより社会的使命を果たすために力を入れられる体制になりました。

3

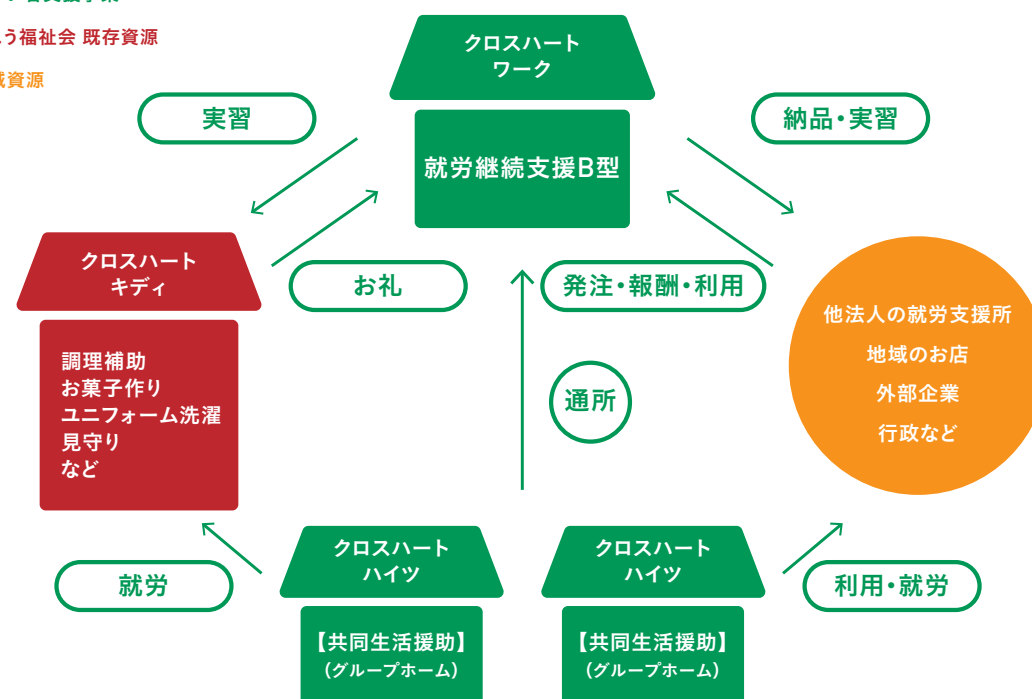
障がい者支援事業の開始

地域内の既存の法人資源を活用し、生産・供給・消費を一貫して行うことで、障がい児者へ多種多様な働く場所・居場所を提供します。「障がいがある子・その親が、地域で安心して最後まで暮らせるお手伝い」をコンセプトに、高齢の親が老人ホームに入居し、障がいを持つ子どもがそこへ就労に行けるような、親子で安心できる包括的な支援を目指します。

…障がい者支援事業

…伸こう福祉会 既存資源

…地域資源



クロスハートハイツ東蒔田

「生まれ育った地域で暮らすこと」、「一人一人の主体的な暮らしを実現すること」を目的に、世話人・生活支援員等と共に、掃除や洗濯、料理などを行いながら共同生活を送ります。



施設概要

事業形態／共同生活援助（グループホーム）
対象年齢／学校卒業～
定員／10名 開所日／2017年3月



クロスハートワーク公田

障がいのため通常の企業に雇用されることが困難な方へ、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う場です。



施設概要

事業形態／就労継続支援B型申請予定
対象年齢／学校卒業～ 定員／20名～
開所日／2016年10月
(伸こう福祉会のユニフォームの洗濯事業として開始)

中期計画Ⅱ期「地域」との協働

外に出よう

品質方針

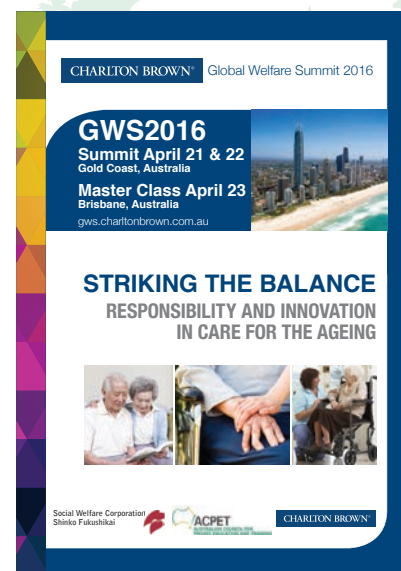
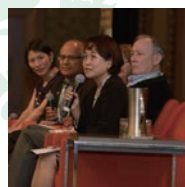
LET'S GO OUTSIDE

4 海外への事業展開

伸こう福祉会では、本部機能に「国際担当」を設け、積極的に海外から「よきもの」を輸入し、日本の「よきもの」を輸出するための取り組みを行っています。

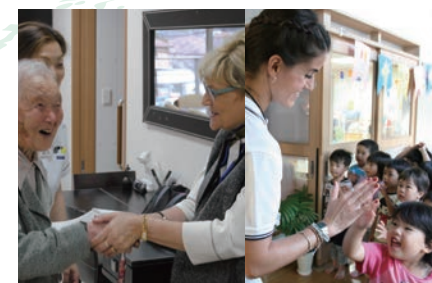
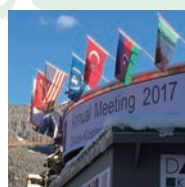
Global Welfare Summit 2016をオーストラリアで開催

2013年に横浜で開催した伸こう福祉会主催の「Global Welfare Summit」。海外各国の福祉の第一人者が集った本会では、国境を越えた「GWSネットワーク」が構築され、今後各国で開催していくことになりました。第2回はオーストラリアの福祉の専門学校 CHARLTON BROWN®の主催により、2016年4月にゴールドコーストで開催されました。伸こう福祉会からもスタッフ15名が豪に渡り、海外からの学びを得ました。第3回は3年後に韓国で開催される予定です。このネットワークを世界各国に構築し、参加国同士が互いに学び合い、問題解決への糸口を探っていける場にしていきたいと思っています。



「世界経済フォーラム年次総会2017（通称ダボス会議）」に理事長足立聖子が出席

世界経済フォーラム(World Economic Forum)より招聘を受け、理事長の足立聖子が2017年1月17日～20日にスイスのダボスクロスターズで開催される「世界経済フォーラム年次総会2017」に参加しました。フォーラムに先立ち開かれた社会起業家の討議において、現在進めている、高齢者や障がい者を介護スタッフとして雇うことで、誰もがいきいき働ける社会の実現を目指していることを伝え、アメリカやイギリスの参加者から賛同が得られ、将来における、アクティブシニアの活躍の必要性を話し合いました。



海外からの視察の受け入れ状況

視察

国名	人数
中国	137
台湾	39
韓国	10
フィンランド	10
スロベニア	9
シンガポール	11
ドイツ	2
オーストラリア	2
合計	220人(昨年度129人)

研修

国名	期間	人数
台湾	2ヶ月	4
オーストラリア	1週間	4
フィリピン	1日×3回	60
合計	-	68



オーストラリア CHARLTON BROWN®との連携

GWSで繋がったご縁から、先述のCHARLTON BROWN®より、毎年、学生がボランティアとして伸こう福祉会の高齢者施設や保育園を訪れてくれています。オーストラリアならではのアクティビティの披露を通じ、伸こう福祉会のスタッフとも交流を広げています。



台湾 亜州大学との連携

友好協定を結んだ台湾の亜州大学の招きを受け、理事長が同大学の国際会議で講演。そのご縁で、大学教授や看護師、介護事業者など、専門家14名が、日本の介護教育を学ぶために来日し、施設見学のほか日本の介護保険制度等の講義、実技ワークショップを組み合わせた研修を受講されました。今後、夏季1ヶ月におよぶ亜州大学学生の介護実習受入れなど、交流を進めます。



中国 CBCとの連携

中国企業CBCが運営する老人ホームに「クロスハートの介護」を伝えるため、伸こう福祉会スタッフが中国南京へ3か月間出向し、マニュアル作成、実技の指導を行いました。継続した支援を要望され、第2期の出向が予定されています。



アメリカ The Encorepreneur Cafeとの連携

ポートランドにて2017年春に開始を予定している「働くこと」をテーマとしたデイサービスを行うThe Encorepreneur Cafe。Cafeを利用するアメリカの高齢者と日本の高齢者が交流できる仕組みをつくり、互いに学びあえる機会を提供できることを目指します。

高齡者

高齢者
介護
Crossheart

P.14-15

P.18-19

P.20-21

伸こう福祉会では、全介護事業で
品質マネジメントシステム「ISO9001」
の認証を取得しています。

P.9

P.16-17

地域の窓口

テキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真
 などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは
 写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキストもし
 くは写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキスト

写真など

テキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真
 などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは
 写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキストもし
 くは写真などテキストもしくは写真などテキストもしくは写真などテキスト

写真など

社会

一般企業様

福祉製品・サービスの
共同開発

海外サポーター
の皆様

人材交流
ノウハウの相互提供

イベント・エンターテインメントを
通じた社会への発信

保育

次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援

年々深刻化が進む「保育士不足」。

待機児童問題解消に力添えをするために、2016年4月に新園を開園しましたが、保育現場への従事を希望する絶対数の減少を実感しています。

伸こう福祉会では、今いる保育士が力をつけ、よりその実力を発揮できるよう、今期は人材育成に注力しました。



2017 TOPICS

「クラス担当者カレッジ」を実施

保育園には、年齢毎にクラス担任がいます。1クラスに若干名の保育士が配置され、園長や主任・他クラス担任と協力し保育を行っています。子どもの成長は著しく、一歳の年齢差でその発達度は大きく変わります。

伸こう福祉会の保育事業では、複数の園を運営している点を活かし、園を横断して、同クラスの担当者が集い、情報交換・発達過程に応じた保育内容を学ぶ「クラス担当者カレッジ」を実施しました。



伸こう福祉会の 保育事業



認可保育所

(8ヶ所※小規模保育事業所を含む)

仕事や病気などの理由で家庭において十分保育することができない0歳～小学校就学前の子どもを、保護者にかわって保育をする施設です。市から設置認可がおりていて、入園に関する諸所の手続きは各市が行います。一部の認可保育園では、休日保育も行っています。

認可外保育園

川崎認定保育園 (1ヶ所)

待機児童の解消を図るとともに、認可保育所では対応できない利用者の多様な保育ニーズにも応えるため、川崎市が定めた一定の基準を満たした保育施設として認定された保育園です。保育を必要とする子どもが、保育所保育指針に基づく良好な保育を受けることを目的とした園である点では、認可保育園との違いはありません。

地域子ども・子育て支援事業

各地域のニーズに合わせ、以下の事業を行っています。

地域子育て支援拠点事業 (1ヶ所)

横浜市補助事業の「親と子のつどいの広場」として、保護者の育児にかかる心身の負担軽減及び子どもの健やかな育ちのために、親子で気軽につどい、同じような不安や悩みを持つ仲間と交流・団らんで居る居場所を提供しながら、地域の子育て力の向上を図っています。

一時預かり事業 (1ヶ所)

一部の認可保育園内において、家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を預かり、一時的に保育を行っています。

延長保育事業 (8ヶ所)

全認可保育園において、保護者の就労等の理由により、通常の利用時間以外の時間に保育が必要な時に、保育を行っています。

病後児保育事業 (2ヶ所)

一部の認可保育園内において、病後(病気の回復期)が理由で集団保育が困難であり、かつ家庭での保育が困難な子どもを、看護師等が一時的に保育等を実施しています。



事業所内保育所

(2ヶ所)

一部の高齢者施設において、子育て中のスタッフの支援を行う「事業所内保育所」を設けています。専任の保育士がおり、子どもが比較的小さなうちから育児と仕事の両立を図れるよう支援しています。

地域の窓口

地域の福祉・保健に関するよろず相談所

一般的に、福祉は「困った時に使うもの」として考えられています。しかし、いざ「困った」時には、まず何をすれば良いのか、どこにいけば良いのか、わからないものです。

伸こう福祉会では、そんな方への「道しるべ」となるよろず相談所を設けている他、「困る前」から福祉を身近に感じてもらえるよう、積極的に発信を行っています。



2017 TOPICS

ひとり仕事になりがちな専門職の連携強化のための「施設見学ツアー」を実施

伸こう福祉会の利点は、介護・保育に関する様々な福祉事業を運営していること。多様な相談に応じるためには、多様な現場を知らなくてははいけません。また、所内には専門職が1人であっても、法人内にはたくさんの専門職がいます。視野を広げることと、専門性を深めることを同時に行うため、法人内のネットワークを活かし、「施設見学ツアー」を実施しました。



地域ケアプラザ

横浜市独児の施設「地域ケアプラザ」の特長は、地域住民の自主的な活動の推進や福祉・保健に関する各種講座の開講などの「地域活動・交流」機能と、福祉・保健の相談窓口としての「地域包括支援センター」機能が一つの建物に含まれ、連携しやすい点にあります。これにより、地域に住む方が「活動」のついでにちょっとしたことを「相談」したり、個々に持ち掛けられた「相談」を地域の課題として捉え、地域全体で取り組む「活動」として働きかけていくことが出来ます。



地域ケアプラザには「地域交流活動コーディネーター」「生活支援コーディネーター」「保健師又は看護師」「社会福祉士」「主任ケアマネジャー」「ケアマネジャー」等の専門職が配置され、「所長」が統括しながら、各機能を総合的に提供しています。

具体的には、以下のようなサービスを実施しています。

福祉保健活動を行う場所として、多目的ホール、地域ケアルーム、調理室などを提供

(介護予防の活動、子育てサークル、障害児の余暇支援活動、茶話会、ボランティア活動など)

活動に関わる人材の育成発掘、研修の実施などにより地域の活動をサポート

子どもから障がい・高齢者まで分野を問わず気軽に立ち寄れる「地域のよろず相談所」として相談受付

地域の様々な立場の人や団体を巻き込みながら、互助・共助の関係性を築くためのまちづくりの推進

ヘルパー利用や施設入所などの介護保険の利用調整

伸こう福祉会独自の地域の窓口

伸こう福祉会 介護総合案内所(1ヶ所)

交通量・通行量の多い場所に、誰もが気軽に立ち寄れる「総合案内所」を設け、介護・福祉に関するあらゆる相談に応じています。「困っているけれど、どこに相談してよいかわからない」方への道しるべとしてご利用いただきながら、地域に潜在する新たなニーズを掘り起こし、地域貢献への一歩となるよう取り組んでいます。

高齢者介護

ご自宅にしながら利用できるサービス

ご自宅での生活を継続しながら利用できる、伸こう福祉会が提供している高齢者介護サービスを紹介します。担当のケアマネジャーが以下のサービス及び伸こう福祉会が提供していない他のサービスを組み合わせた計画を立て（「小規模多機能型居宅介護サービス」「看護小規模多機能型居宅介護サービス」は単独）、ありがたい暮らしを実現できるよう、各所で連携しあいながら支援します。

施設に短時間通う・ 短期間泊まるサービス

デイサービス(6ヶ所)

施設に短時間通い、趣味活動を通して社会交流の機会を広げることで生活の中に活気や意欲を取り戻せるよう援助したり、筋力低下を防ぐために運動の機会を増やしたりしながら、ご自宅での生活を継続できるよう支援します。食事や入浴、ご自宅から施設までの送迎を行っています。

ショートステイサービス(5ヶ所)

施設に短期間お泊りすることで、ご自宅にこもりがちなご利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、ご利用者とご家族がそれぞれの生活を楽しむことができるよう支援します。

2017 TOPICS

ご利用者による音楽・絵画の発表会を開催

「楽しく」「成果を実感でき」「好きなことを通して人と人とが繋がる」プログラムを実践し、「行く」と明るく元気になる」と言われるデイサービスになることを目標に、専門家を講師に迎え、「音楽」「アート」を柱にしたプログラムを実施してきました。ご利用者の皆さまは、3月末に行われるステージ・展覧会を目指して、各々の作品に磨きをかけてこられました。



「訪問」「通い」「宿泊」を 組み合わせたサービス

小規模多機能型居宅介護サービス(3ヶ所)

ご利用者やご家族の選択・必要性に応じ、スタッフがご自宅に伺ったり、施設内でサービスを提供したり、泊まっていたりするサービスです。すべて一つの事業所で行われるため、ご利用者同士やスタッフと馴染みの関係を築け、柔軟な対応が可能となります。

看護小規模多機能型居宅介護サービス(1ヶ所)

「小規模多機能型居宅介護サービス」の内容に、看護師などによる「訪問(看護)」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができます。

2017 TOPICS

「地域」での生活を大切に

「小規模多機能型居宅介護サービス」は、介護保険上、「地域密着型サービス」に分類されます。地域密着型サービスは、名前の通り、ご利用者が住み慣れた「地域」での生活を続けるために支援するサービスです。地域で生活をするには、ご利用者への支援だけでなく、地域に積極的に働きかけ、ご利用者と地域をつなげること、地域全体の「福祉力」を向上させることが必要です。事業所を拠点とした地域交流が生まれるよう、イベントなどを通じた発信を行ってきた一年でした。



販売・受付・会計をご利用者と共に行った「十二所まつり」

ご自宅に伺う サービス

訪問介護サービス(1ヶ所)

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、食事・トイレ・入浴などの身体的な支援や、掃除・洗濯・料理・買い物などの生活上の支援をします。日々のコミュニケーションを通じて、ご利用者ご本人も気付かない体調や精神的な変化に気付けるよう努めています。

訪問看護サービス(1ヶ所)

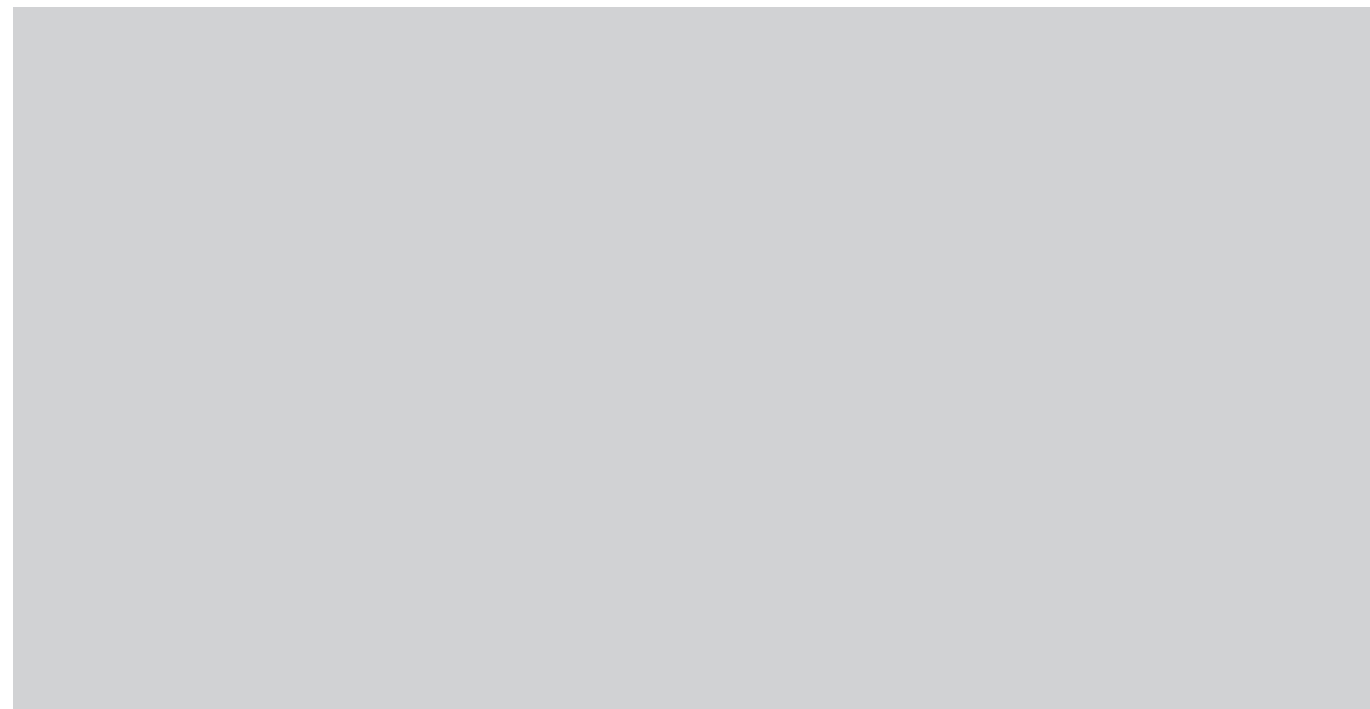
看護師がご自宅にお伺いし、病状や療養生活を専門家の目で見守り、その人らしいご自宅での暮らしが継続できるよう支援します。医療機器をつけた方や緊急の場合にも対応します。

高齢者介護

「暮らし」を提供するサービス

「生活の拠点」として住まい、「楽しくきれいに いつまでも」暮らしを続けられるよう、サービスを行います。

仲間福祉会では、ご利用者やご家族が病院での治療を望まず、ここを「最後の住まい」として選んでくださったときは、ホームでお看取りをさせていただきます。



特別養護老人ホーム (3ヶ所)

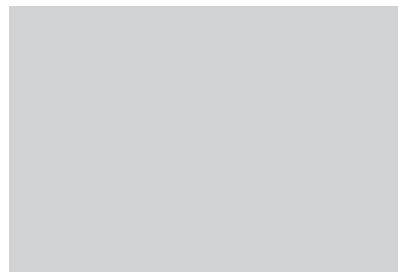
病気や障がいが原因で常に介護を必要とする方にお住まいいただき、介護スタッフや栄養士、看護師等の専門職が連携しあい、ご自宅での生活では難しかった健康管理や清潔の維持を支援することでご利用者の心身の状態を安定させられるよう努めます。また、安定したことで生まれるご利用者の意欲を大切に、社会交流や外出の機会を作ります。

ご入居要件 要介護3以上でかつ、ご自宅で適切な介護を受けることが困難な方

2017 TOPICS

いつまでも口から美味しく召し上がっていただくために

「クロスハート幸・川崎」は、開所当初から「口から食べること」にこだわり続け、医師や歯科医にも協力を仰ぎ、介護スタッフ、ケアマネジャー、看護師、管理栄養士、理学療法士などが連携しあい、食事環境の向上に努めてきました。多職種が連携することで、食事内容はもちろんのこと、座位・姿勢、口腔の衛生状態、食事を楽しみとを感じる雰囲気づくりなど、それぞれの専門性の角度から食を捉えられ、チームで一丸となって「誤嚥性肺炎ゼロ」、「より長くご自身で食事をしていただく」ことを目標に取り組んでいます。



高齢者グループホーム (11ヶ所)

認知症の方が、家庭に近い少人数の落ち着いた環境の中で、個々の生活と共同生活を共存させながら、可能な限り自立した生活を送れるよう支援します。ホームが閉鎖的にならないよう、地域の方と一緒にイベントを行ったり、地域の催し物に参加したり、出来るだけ外出することを心がけています。

ご入居要件

医師から認知症の診断が下りている方でかつ、要支援2以上でかつ、事業所のある市内に住所地がある方

2017 TOPICS

入院日数を減少させることができました

生活施設である以上、ご利用者の平均年齢は年々上がります。高齢になるにつれ疾病や事故のリスクは高まりますが、より長くお元気で過ごしていただきたいと、スタッフが疾病や事故の予防となる対応ができるよう社内勉強会や外部研修会参加を奨励しました。今年度、目標値を「前年度よりも入院日数を減少させる」と定め取り組んだ結果、以下の通り、減少させることができました。

11ホーム合計の入院日数(1ヶ月平均)

2015年度 103日

2016年度 81日

介護付き有料老人ホーム (3ヶ所)

お元気な方から、重度の介護を必要とされる方まで、安心して暮らせる「家」作りにこだわり、一人ひとりの自由な暮らしをお手伝いします。自宅では難しくても、ホームに移り住むことによって、若い時から持っていた「社会的役割」や「身体機能」が維持できるように、様々なイベントやプログラムを一緒に作っていきます。

ご入居要件

おおむね65歳以上の方

2017 TOPICS

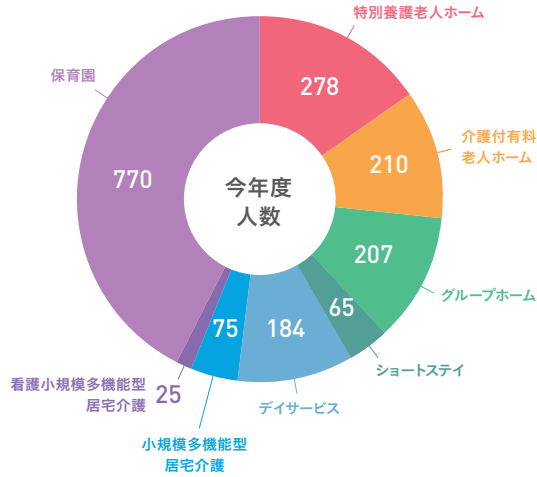
地域と共に行うイベントの実施

地域の有識者や芸術活動を行う方などにホームにお越しいいただき、ホームで暮らしながらも趣味や学びの活動の機会が得られるよう取り組んだほか、近隣の小学生・保育園の園児・スタッフの子ども達が集まる会を開催し、核家族化が進みお年寄りと接する機会が少ない子どもたちへ「おじいちゃん・おばあちゃん」としての知識や経験値をお借りするイベントを行いました。



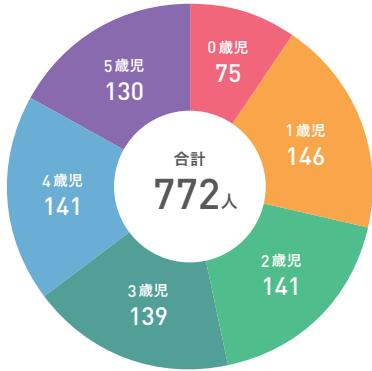
事業毎のご利用者定員数

事業名	今年度人数
特別養護老人ホーム	278
介護付有料老人ホーム	210
グループホーム	207
ショートステイ	65
デイサービス	184
小規模多機能型居宅介護	75
看護小規模多機能型居宅介護	25
保育園	770

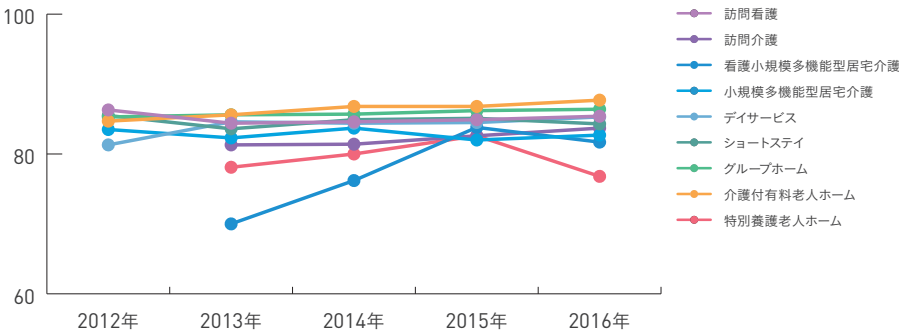


保育事業 年齢割合

年齢	人数
0歳児	75
1歳児	146
2歳児	141
3歳児	139
4歳児	141
5歳児	130
全体	772

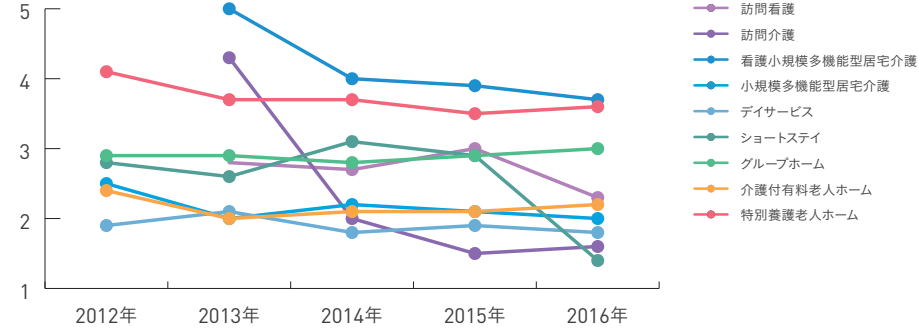


介護事業 平均年齢



事業所名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
特別養護老人ホーム	86.3	84.4	84.6	84.9	85.4
介護付有料老人ホーム	84.7	85.6	86.8	86.8	87.7
グループホーム	85.3	85.6	85.7	86.2	86.4
ショートステイ	85.5	83.6	84.9	85.1	84.3
デイサービス	81.3	84.6	84.4	84.5	85.3
小規模多機能型居宅介護	83.5	82.3	83.7	82	82.7
看護小規模多機能型居宅介護	70	76.2	83.8	81.7	
訪問介護	81.3	81.4	82.6	83.7	
訪問看護	78.1	80	82.6	76.8	

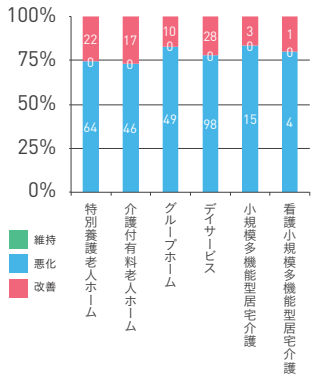
介護事業 平均要介護度



事業所名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
特別養護老人ホーム	4.1	3.7	3.7	3.5	3.6
介護付有料老人ホーム	2.4	2	2.1	2.1	2.2
グループホーム	2.9	2.9	2.8	2.9	3
ショートステイ	2.8	2.6	3.1	2.9	1.4
デイサービス	1.9	2.1	1.8	1.9	1.8
小規模多機能型居宅介護	2.5	2	2.2	2.1	2
看護小規模多機能型居宅介護		5	4	3.9	3.7
訪問介護		4.3	2	1.5	1.6
訪問看護		2.8	2.7	3	2.3

介護事業 全ご利用者数における認知症の診断が下りている方の割合

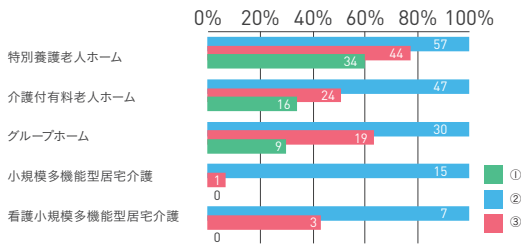
		悪化	維持	改善
特別養護老人ホーム	71.9%			
介護付有料老人ホーム	30.0%			
グループホーム	100%			
デイサービス	20.9%			
小規模多機能型居宅介護	66.7%			
看護小規模多機能型居宅介護	50.0%			
訪問介護	10.7%			
訪問看護	42.9%			
特別養護老人ホーム		64	0	22
介護付有料老人ホーム		46	0	17
グループホーム		49	0	10
デイサービス		98	0	28
小規模多機能型居宅介護		15	0	3
看護小規模多機能型居宅介護		4	0	1



介護事業 お看取りについて

今年度中にご退去・ご利用中止されたご利用者数(①) ①の内、理由が「ご逝去」のご利用者数(②) ②の内、事業所内で看取りケアをさせて頂いたご利用者数(③)

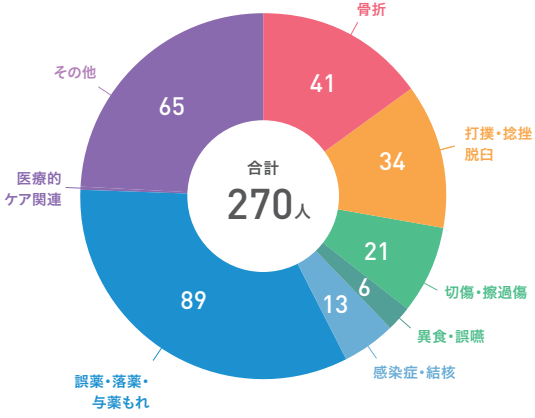
	①	②	③	①	②	③
特別養護老人ホーム	100%	77%	60%	57	44	34
介護付有料老人ホーム	100%	51%	34%	47	24	16
グループホーム	100%	63%	30%	30	19	9
小規模多機能型居宅介護	100%	7%	0%	15	1	0
看護小規模多機能型居宅介護	100%	43%	0%	7	3	0



事故報告件数

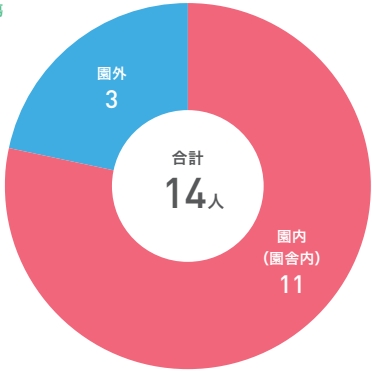
介護事業
行政報告をした事故の種類・件数

骨折	41
打撲・捻挫・脱臼	34
切傷・擦過傷	21
やけど	0
異食・誤嚥	6
食中毒	0
感染症・結核	13
職員の不祥事	0
誤薬・落薬・与薬もれ	89
医療的ケア関連	1
その他	65
合計	270



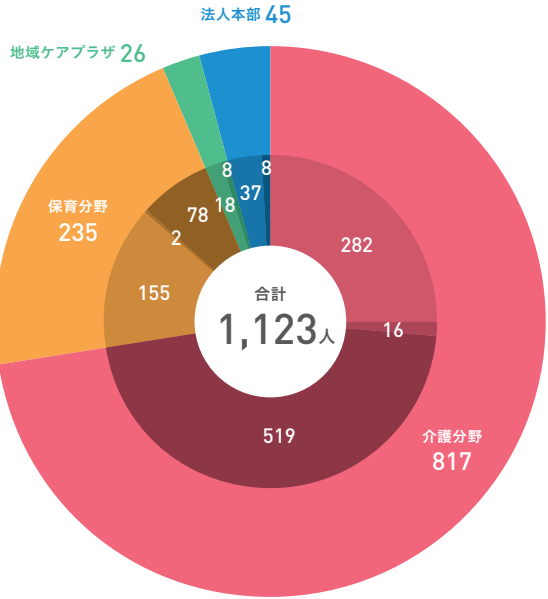
保育事業 法人加入の
「日本スポーツ振興センター」
に申請した件数

園内(園舎内)	11
園内(園舎外)	0
園外	3
合計	14



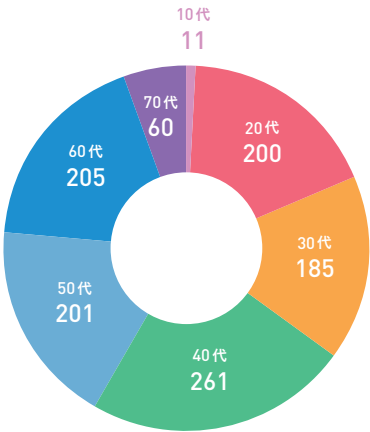
分野毎の人数

介護分野	817	地域ケアプラザ	26
常勤	282	常勤	18
限定常勤	16	限定常勤	0
非常勤	519	非常勤	8
保育分野	235	法人本部	45
常勤	155	常勤	37
限定常勤	2	限定常勤	0
非常勤	78	非常勤	8
合計		1123	



年齢割合

10代	11
20代	200
30代	185
40代	261
50代	201
60代	205
70代	60
80代	0

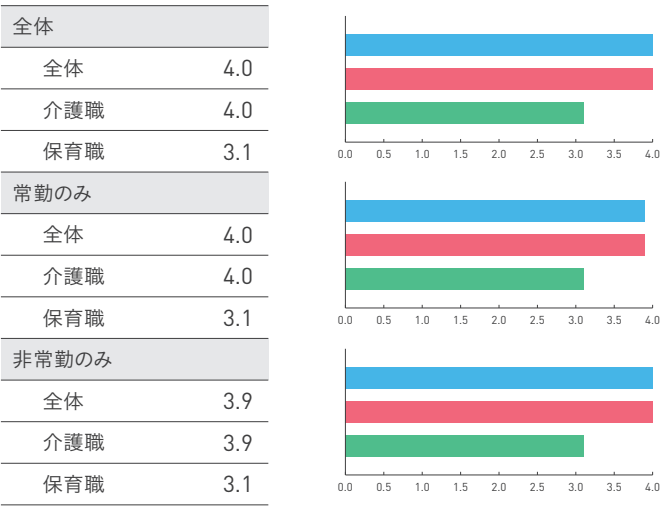


平均年齢全体	46.2
平均年齢介護	46.2
平均年齢保育	45.3

主な資格所有者人数

介護福祉士	221	歯科衛生士	2
介護支援専門員	84	看護師(准看護師含む)	83
社会福祉士	17	保健師	3
精神保健福祉士	1	理学療法士	2
管理栄養士	9	柔道整復師	3
栄養士	17	保育士	187
調理師	15		

平均勤続年数



外国籍スタッフの国別人数

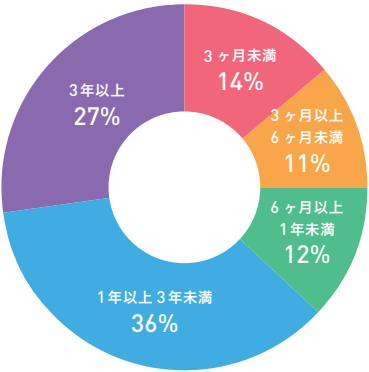
ペルー	12	韓国	1
フィリピン	11	ギニア	1
中国	8	スウェーデン	1
ブラジル	5	タイ	1
ベトナム	2	バングラディッシュ	1
アルゼンチン	1	ベネズエラ	1
イギリス	1	ミャンマー	1
合計		47	

障がい手帳を持ったスタッフ人数

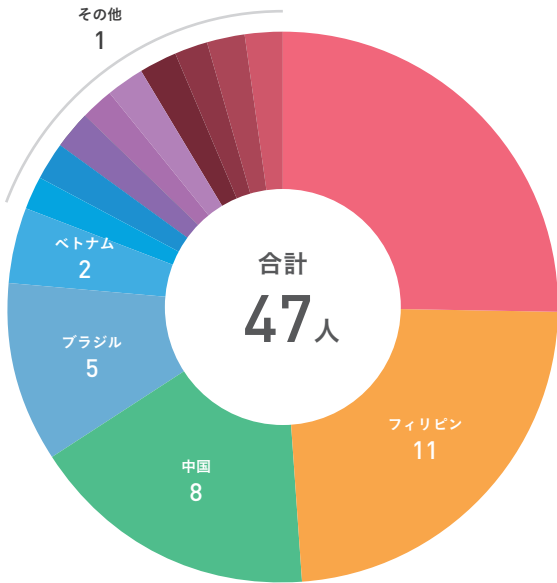
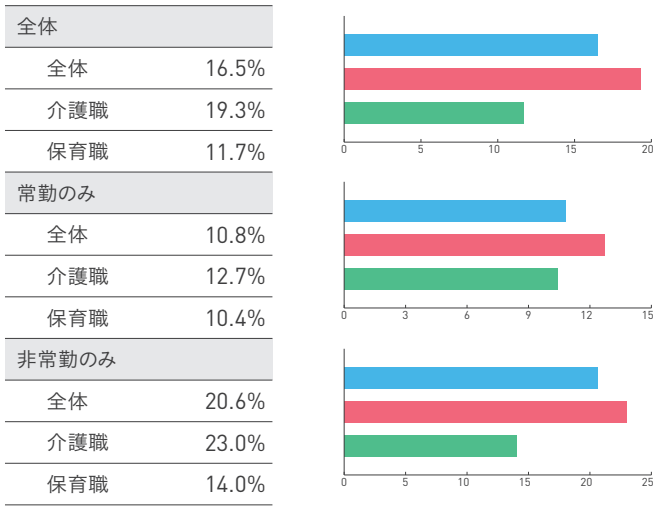
30

退職者の勤務年数別の割合

3ヶ月未満	14%
3ヶ月以上6ヶ月未満	11%
6ヶ月以上1年未満	12%
1年以上3年未満	36%
3年以上	27%



離職率



事故報告件数

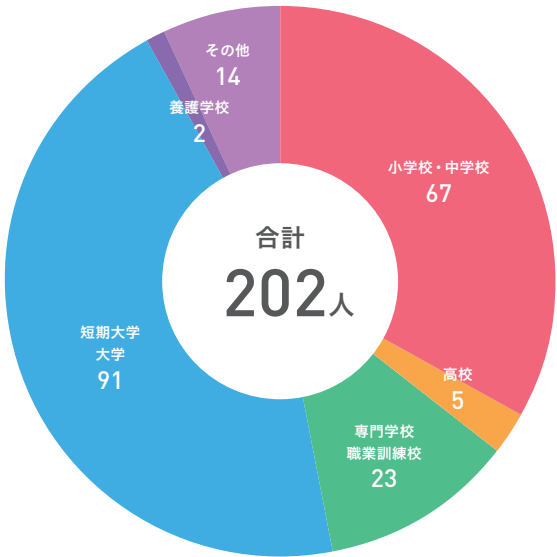
	団体	個人
事業所にお越しただいているボランティア	35	58
地域ケアプラザ登録ボランティア	60	185

ボランティアさんが主導となって開催して下さったイベント件数

	介護事業	保育事業
歌の会・演奏会	450	65
朗読会	46	482
体操・ダンス	172	68
もの作り	268	6
その他	229	49

実習生の受け入れ人数

小学校・中学校	67
高校	5
専門学校・職業訓練校	23
短期大学・大学	91
養護学校	2
その他	14
合計	202



見学者人数

	介護事業	保育事業
ご利用検討者又はご家族	5930	972
入職検討者	133	44
イベント以外の地域の方	80	126
その他	78	70
合計	6221	1212

地域に向けたイベント件数

	介護事業	保育事業
勉強会・講演会	35	23
映画鑑賞会・音楽演奏会	44	2
フェスティバル・パーティー	38	15
カルチャースクール	39	0
食事会	72	3
世代間交流	24	12
その他	18	25

地域で開催されたイベントへのご利用者の参加

	件数	内容
介護事業	86	保育園訪問、地域のお祭りへ、地域清掃など
保育事業	36	小学校訪問、地域のお祭り、移動動物園、人形劇、駅伝など

CSR

に基づく

伸こう福祉会の取り組み

(CSR=Corporate social responsibility：企業の社会的責任)

企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility：CSR)に対する社会の要請は、年々高まっています。そこで伸こう福祉会では、体系的でかつ国際標準に則したCSR活動に向けて、国際標準化機構のISO26000に基づき課題を整理して実行に移し、本レポートやホームページ、マスコミ、講演等を通じ、ステークホルダーの皆さまへ積極的に情報開示しています。

また、「社会福祉法人」である伸こう福祉会にとっては、良質なサービスを1人でも多くのサービスを必要とする方へ届けることそのものが「社会的責任」でもあります。今後もサービスを量・質共に拡充し、積極的に社会の要請に応えていきたいと思ひます。

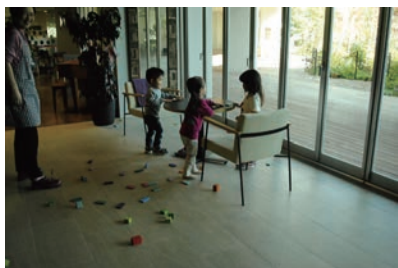


働きやすい職場環境を目指して

就労環境の整備

スタッフが心身ともに安心・安定して長く働ける就労環境を目指し、国で決められている産休・育休や有休制度の他、様々な取り組みを行っています。

事業所内保育室	子どもが比較的小さなうちから育児と仕事の両立を図ることが出来るよう、川崎市と藤沢市の一部の事業所において、スタッフ向けの保育室を設けています。また、事業所内保育室が無い事業所においても、子どもを連れて出勤することができます。
限定常勤制度	能力がありながら、勤務地域や時間帯に制限があり常勤スタッフとして働けない方へ、「地域限定常勤」「時間帯限定常勤」の雇用形態を設けています。基本給与は常勤スタッフと変わらず、賞与に差を持たせています。
クロスハートバカンス	常勤スタッフは、年間を通して最大10日間の連続休暇を取得できます。



働きにくさを抱えた方の雇用と定着

伸こう福祉会では、働きにくさを抱えた方も含めた人材の多様性を推進しています。本部機能に支援をする担当者を設けている他、施設長や主任をはじめとした管理職がきめ細かくサポートし、「誰もが介護や子育て、病気などで柔軟な働き方が必要な時がある」という、困った時はお互いさまの組織風土づくりを目指しています。働きにくさの特性に応じ仕事内容や勤務時間を調整しているため、給与の差は設けていません。能力によっては、常勤として働くスタッフも多数います。

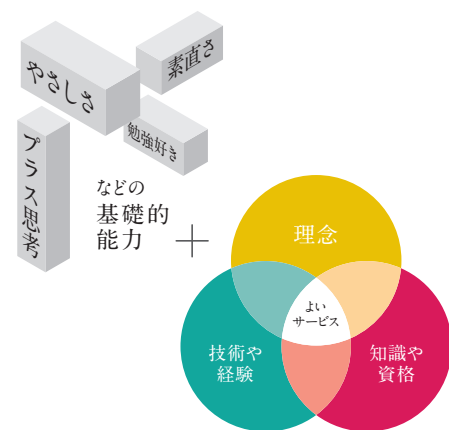
高齢者の雇用	満70歳を定年とし、健康状態などを考慮したうえで、定年後も働くことを希望するスタッフは再雇用し、最長80歳まで継続雇用しています。
障がいを持つ方の雇用	本部機能に担当者を設け、相談支援を行っています。
外国籍の方の雇用	本部機能に担当者を設け、相談支援を行っています。
難民の方の雇用	難民認定申請中の求職者を積極的に受け入れています。
スタッフホットライン	直属の上長に伝えづらい相談を24時間365日受けられる電話窓口を設けています。

法人全体の連携強化

「One Family」を意識し、施設間を越えた交流ができるよう、経営チームがホストとなり、月に1度スタッフのバースデー遠足を行いました。また、職場とは違う環境の中で事業や役職の垣根を超えて一つのものに取り組みうと、第2回となるスタッフ向けの運動会「SKF感謝祭」を開催し、407名が参加しました。

伸こう福祉会らしい「人」を育てる

2016年度研修体系



伸こう福祉会では、“やさしさ”、“素直さ”、“勉強好き”、“プラス思考”等の「基礎的能力」を持ち合わせるスタッフが、法人の「理念」や仕事をしながら習得する「技術や経験」、専門職としての「知識や資格」を身に付けていくことにより、より良いサービスを提供できると考えています。そのため、面接時には入職後では教育が難しい「基礎的能力」の確認に重点を置き、入職時の研修や全スタッフが一年に一度受講する研修で繰り返し「理念」を伝え、入職期間・役職に応じた総合的な研修や各施設でのOJTで「技術や経験」を重ね、専門職毎の研修や資格取得をサポートする研修で「知識や資格」が得られるよう取り組んでいます。また、それらが実際に理解され、身についているかを確認するために、介護福祉士や保育士の試験問題を参考にして作成した「知識テスト」を行っています。

階層	階層別研修	
内定者	○中途入職者	○新卒入職者
	入職手続き 法人規定や勤務上の規則について理解する。	内定者ガイダンス 入職に向けた準備及び先輩や同期職員との懇親を深める。
新入職スタッフ	入職時オリエンテーション 施設見学及び入職後の業務や注意事項等について理解する。	入職前オリエンテーション 法人に対する理解やビジネスマナー・コミュニケーション研修及び法人の基本理念を学ぶ。
一般スタッフ	○中途入職者 新入職カレッジⅠ 法人の基本理念や品質目標の理解及び今年度の重点項目についての理解を深める。	○新卒入職者 新卒カレッジ (介護・保育共通) 社会人として必要な知識や対人援助職としておさえておくべき必要なテーマを学ぶ。 (介護) 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術の習得。職業倫理を学ぶ。 (保育) 保育士として必要な知識や経験を、OJTとして実際の現場で学ぶ。
リーダー・主任	施設内カレッジ・OJT 施設内スタッフのスキルアップや品質向上を目指す。	資格取得サポート 資格取得を目指した知識・技術の習得。モチベーションの向上及びサービス品質の向上を図る。(本年度の主な内容) 初任者研修、喀痰吸引研修、知識補充カレッジ(P9「知識テスト」の結果を受け、不得意分野を強化する)
		リーダーカレッジ リーダー職に向け、専門性の向上及びマネジメント技術向上を目指す。
		施設長カレッジ 品質向上やマネジメント技術向上及び戦略経営を目指す。
施設長	オープンカレッジ 受講者をスタッフに限定せず、地域や他社の方など多くの方へ学びの機会を提供する	

企業市民として、身近なところから

地域のクリーン活動



伸こう福祉会の多くの施設がある湘南地域は、鎌倉や江の島など豊富な観光資源を有し、「東京都内から1時間で行ける砂浜も岩浜もある海」として人気のスポットです。その海を守り次世代まで残すことを目的に、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発・海岸清掃ボランティアの支援を行う「公益財団法人 かながわ海岸美化財団」が設立され、伸こう福祉会も2014年からビーチクリーン活動に参加を始めました。2016年には同財団より、保育園「キディ鶴沼・藤沢」と「キディ湘南C-X」に、海岸美化への貢献に対して感謝状と記念品として活動地域の「片瀬海岸」の砂で作られた砂時計が贈られました。

保育事業では、ISO14001（環境マネジメントシステムに関する国際規格）の認証を取得している縁もあり、日々の保育の中でも環境問題を意識した教育に取り組んでいます。大人になっても記憶に残るような活動を心掛け、食事や菜園づくり、清掃活動等の「体験」を通して自然の大切さを学べる機会を多く設けています。

また、「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」では、月に1回、地域清掃の日を決め、施設近隣地域の清掃（草むしり、枝きり、ゴミ拾い等）を行っています。「人生の後輩たち」に美しい環境を残すため、これからも積極的にクリーン活動に取り組んでいきます。



横浜市の消防大会へ出場

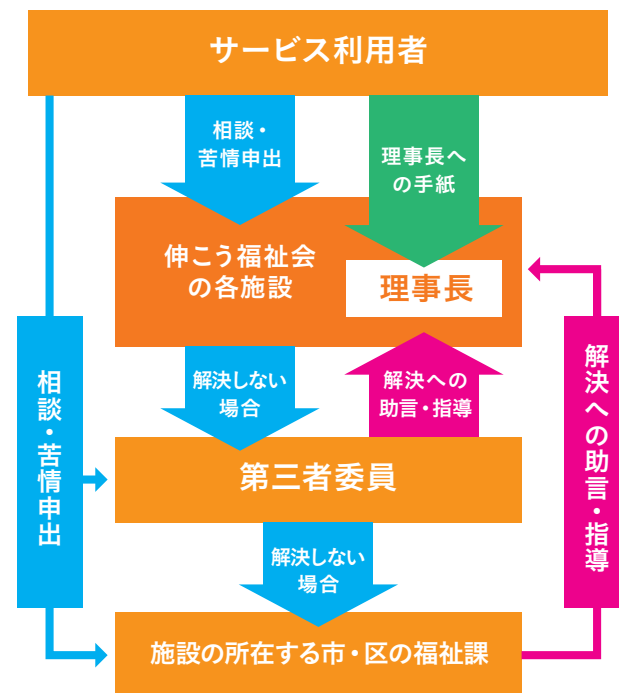


2016年9月14日、災害に備えて事業所の従業員たちによって構成されている自衛消防隊組織の技術を競い合う「栄区自衛消防隊技術訓練会」（主催：栄区自衛消防連絡協議会）に「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」のスタッフが参加しまし

た。本大会には横浜市内の企業や事業所から合計16隊、50人以上が参加され、4部門に分かれて消火器やホースによる消火技術を競い合いました。クロスハート栄・横浜の隊員たちは、「屋内消火栓操法I」部門において最優秀隊に選ばれ、同年10月19日、栄区代表として「横浜市消防操法技術訓練会」に出場しました。



公正が保たれる仕組みをつくる



理事長への手紙BOX



お客さまの声を運営に活かすために

社会福祉事業の提供者は、「提供する福祉サービスについての苦情」の適切な解決に努めなければならないと社会福祉法第82条に定められています。そのため、各事業所において、「苦情解決責任者」「苦情受付責任者」を選任している以外に、各事業所には直接言い出しにくいご意見をいただく窓口として、法人外の方に「第三者委員」を担っていただき、各連絡先を事業所内に掲示しています。

また、独自の取り組みとして、事業所を越えて理事長宛にダイレクトに伝えたいことを投函できる「理事長への手紙」ボックスを各所に備えています。ボックスの中身は、月に一度外部委託先が回収し、理事長の元へ届けます。「お客さまの声」は、私たちにとって、そして福祉制度にとって、サービスをより良くするための一番の薬だと考えています。

ISOを通じた基準の整備

よりよいサービスをお客さまへ提供するための仕組みをつくり、第三者の目線で評価をしていただくため、介護事業の各施設で、品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、更新を重ねています。今期は2016年2月7・8日にサーベイランス（定期審査）

公平・公正な取引の徹底

日々のサービスを支えて下さる協力会社やお取引先など、様々なビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していきたいと考えています。

契約にあたっては、「JIS Q 9001:2008 品質マネジメントシステム 要求事項」に即して作成している法人内規定「品質マニュアル」及び「稟議規定」に基づき、関連法規を遵守した公正公平な取引の実現に努めています。また、すべての委託先、購買物品については、品質レベルを評価・確認し、最長1年毎に継続を検討しています。

サービスづくりはお客さまとともに

ご家族が運営主体となり施設と関わる「家族の会クロス」

「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」には、現在または過去にご利用された方のご家族が主体となり、会員同士の親睦・知識向上・相互扶助を目的として設立された会「家族の会クロス」があります。本会は、年に一度行う「報告会(総会)」を始め、年2回の意見交換会、横浜市社会福祉協議会の福祉バスを利用した「バスハイク」、「クロスハートフェスティバル」(クロスハート栄・横浜で行うお祭り)への出展参加、ご利用者の織い物など、様々な場面で活躍して下さっています。

最期の時間をお過ごしいただく

伸こう福祉会の介護施設では、ご家族が病院での治療を望まず、最後の時間を施設で過ごすことをご希望された時、ターミナルケアをさせていただきます。医療機関ではないので、介護はできても治療はできません。施設でできること、病院でなければならないことを何度もご家族と話し合い、同意書を結びます。終末期のご利用者やご家族は、スタッフに様々な学びを与えて下さいます。私たちはそれを真摯に受け止め、「クロスハートでの最期の時間」を選んで下さったご利用者にご家族に感謝をしつつ、お手伝いをさせていただきます。

介護付き有料老人ホーム「クロスハート石名坂・藤沢」でお看取りさせていただいたA様の娘様よりお手紙を頂きました。

足立聖子理事長様

今、私の心は、妹と共にクロスハート石名坂の皆様へ感謝の気持ちで満ちています。

母は、2016年11月18日(金)の朝、施設長さん、ケアマネジャーさん、看護師さんに看取られて本当に安らかに息を引き取りました。私達は不思議な程、穏やかな心で神さまのみもとへ母を送る事が出来ました。

2015年1月に大腸ガンの手術を受けた母は2016年7月に再発、もう手術は不可能でした。昨年のパーティーで偶然にも理事長様とお話する機会を得て、母の最期を御相談した折、「ずっと慣れ親しまれた所から送られた方が良いですよ」と話して下さいました。脳にしまっていました。

母は、クロスハートに辿り着くまでの半年間をいくつかの施設のショートステイを転々とし(させてしまった)、やっと穏やかに落ち着いて日々送れる終の住み家として自分で受け入れたクロスハート石名坂です。私はスタッフの皆様が大変な思いをなさる事を承知の上で、クロスハートで母を看取して下さいと主治医の先生、看護師さん、ケアマネジャーさん、そして施設長さんに伝えました。

内心、これで良かったのか不安でした。けれど、皆様の母や私達家族に対する対応はそれぞれの専門分野で、そしてそれを越えて、お会いする度に私の不安を取り除いて下さいました。心細やかな御配慮、速やかで的確な決断で、心身ともにずっと母に寄り添って下さいました。母と距離を置くことしか術を知らなかった私が、クロスハートで日々を送るうちに穏やかになっていった母と、笑顔で会えるようになり、二人にとって良い時間を過ごせ、母に沢山の「ごめんなさい」と「ありがとう」を伝える事が出来ました。

母が昇天する前日の夕方「私は帰るけれどスタッフの皆さんがいつもそばにいて下さるから安心していてね。楽しい事を考えていてね」と耳元で伝えると優しく目を開けてOKサインをくれました。

お一人お一人が主役である利用者の方々に、明るく、飾らず、真摯に向き合って下さるクロスハートの皆様にどのように感謝の言葉を伝えて良いかわからず、手紙を書かせて頂きました。スタッフの皆様どうぞ、「ありがとうございます」とお伝え下さい。お願いします。



私たちは、地域の中の「資源」

福祉施設は地域のコミュニティスペース

伸こう福祉会では、地域の方に普段あまり足を踏み入れることのない福祉施設をもっと身近に感じてもらうと同時に、施設を地域のコミュニティスペースとして活用していただくために、様々な仕掛けをしています。



特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」、他

日常的に地域の方が自由に入出りできる「カフェコーナー」や「図書コーナー」を広く設けています。



介護付き有料老人ホーム「クロスハート湘南台二番館」、他

約100名を動員できる「クロスハートホール」や小グループで集える「集会所」を地域に開放しています。



グループホーム「クロスハート二階堂・鎌倉」

駅やバス停まで遠く、喫茶店や公園などの休憩スペースが無い住宅街の中にあるグループホームの庭にテラスを設け、地域の方のたまり場として使用いただきたいと今年度新たにテラスを作りました。



認可保育園「キディ鶴沼・藤沢」

保育園の一部を一般開放し、地域の子育て家庭の悩み相談や親子同士の相互交流が出来るよう、支援しています。

復興庁 被災者支援総合事業「心の復興」事業の開催



東日本大震災の被災によって東京・埼玉・神奈川に避難をしている方へ、他者とのつながりや、生きがいをもって前向きに生活することに少しでも力を貸せるよう、復興庁が主管する「心の復興」事業を実施しました。

事業は、「園芸教室」や「歌の会」、「絵画教室」、「メイク教室」などの被災者の活力増進を目的としたものを12回開催した他、震災から5年が経過した今、震災が私たちに残したことを忘れないための風化防止事業として、地域の方への展示フォーラムや、小学校や保育園で防災教材冊子を使用した授業を開催しました。

メディア掲載一覧

2016年4月～2017年3月にご掲載いただいたものを紹介します。

テレビ・ラジオ

2016年9月25日	テレビ東京 「池上彰のご当地ウラ事情」高架下の保育園／キディ石川町・横浜
2017年1月5日	NHK「ニュースウォッチ9」 日本老年学会・高齢者の定義引き上げを提言／クロスハート幸・川崎
2017年1月18日	フジテレビ「とくダネ」 真相チェイス!直撃御免／松本憲夫(クロスハート十二所・鎌倉デイスサービス)

新聞・雑誌・ネットニュース

2016年5月1日	イダナTimes 井田中町商栄会 新加盟店紹介／林ゆう太(キディ元住吉・川崎)
2016年5月11日	高齢者住宅新聞 7ヶ国が講演 世界の福祉学ふ GWS2016
2016年5月14日	神奈川新聞 職員育てたバラ見ごろ 老人ホーム中庭開放きょうから／佐藤貞義(クロスハート石名坂・藤沢)
2016年5月15日	汐見台ニュース 80歳以上対象 ブラチナ体操／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2016年5月28日	日本経済新聞 伸こう福祉会創設者片山ます江さん「保育も介護も、やりたいことを貫く」／片山ます江(専務理事)
2016年5月日	真・介護キャリア 定年延長/高齢者雇用による人材確保／前田みどり[事業本部]
2016年6月1日	月刊シニアビジネスマーケット 介護事業者のための「最新」エンディングサービス／クロスハート栄・横浜
2016年6月3日	シルバー新報 職員の不満が虐待に高経協シンポ 変化に気付ける組織づくりを／足立聖子(理事長)
2016年6月23日	神奈川新聞 「お得!まちクーポン」／子育てキディ洋光台
2016年6月日	NHK出版 「ノーリフト」で変わるケアの現場／クロスハート栄・横浜
2016年7月4日	毎日新聞 定年後「働く」を楽しもう／田坂恵一(クロスハート幸・川崎)
2016年8月4日	女性セブン 充実アクティビティでボケにさようなら／クロスハート湘南台・藤沢
2016年8月5日	シルバー新報 「食べる」「生きる」を支援／湘南食サポート歯科 湘南食サポート歯科[グループ会社]
2016年8月8日	週刊ポスト いま日本で最も凄い「老人ホーム」／クロスハート十二所・鎌倉
2016年9月1日	月刊シニアビジネスマーケット リーダーたちの肖像／足立聖子(理事長)
2016年9月14日	日刊工業新聞 中災防、第3次産業の安全衛生を支援／社会福祉法人伸こう福祉会
2016年9月16日	週刊ポスト 看取りが凄い全国老人ホーム10／クロスハート栄・横浜
2016年10月12日	高齢者住宅新聞 『理想の老人ホームって何だろう』／片山ます江(専務理事)
2016年10月25日	神奈川新聞 米に交流拠点開設へ／伸こう会株、SHINKOKAI CORPORATION
2016年10月28日	シルバー新報 国際展開へ法人設立／伸こう会株、SHINKOKAI CORPORATION
2016年11月2日	高齢者住宅新聞 米でデイ運営／伸こう会株、SHINKOKAI CORPORATION
2016年11月4日	読賣新聞夕刊 しごと図鑑 デイサービスの介護スタッフ／三好修(クロスハート栄・横浜デイスサービス)
2016年11月11日	シルバー新報 かながわベスト介護セレクト20／クロスハート二階堂・鎌倉
2016年11月11日	シルバー新報 応援します!女性経営者／足立聖子(理事長)
2016年11月24日	神奈川新聞 介護職、魅力を発信 感動体験紹介も 横浜でフェア／クロスハート二階堂・鎌倉
2016年11月25日	タウンニュース藤沢版 介護の理想を一冊に／片山ます江(専務理事)
2016年12月1日	月刊シニアビジネスマーケット 米国で「ビジネス・デイスサービス」を開始／社会福祉法人伸こう福祉会、SHINKOKAI CORPORATION
2016年12月1日	こうほう森南 支えあい全体会議・みんなで学ぶ認知症-／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2016年12月10日	日経ヘルスケア 『理想の老人ホームって何だろう』／片山ます江(専務理事)
2016年12月15日	ネピアテングーケア通信 腰痛は介護の職業病ではない／クロスハート栄・横浜
2016年12月	Best Partner(浜銀総研季刊誌) 挑戦する独創企業／社会福祉法人伸こう福祉会
2017年1月1日	月刊シニアビジネスマーケット 特集 介護の論点2017／足立聖子(理事長)
2017年1月25日	ビジネス・レーバー・トレンド 連載 賃金・人事処遇制度と運用実態をめぐる新たな潮流／社会福祉法人伸こう福祉会
2017年2月1日	福祉介護テクノプラス いきいき高齢者施設探訪記／亀石由美子(クロスハート幸・川崎)
2017年2月10日	シルバー産業新聞 外国人と障がい者の職員を育成する介護付き有料ホーム／クロスハート湘南台二番館
2017年2月16日	へるばる2017春号 ホームヘルパー奮闘日記／クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜
2017年2月17日	タウンニュース藤沢版 介護・保育分野で日本人初 足立さんダボス会議へ参加／足立聖子(理事長)
2017年3月8日	聖教新聞 介護のページ／片山ます江(専務理事)
2017年3月15日	介護の経営と運営 求める人を採用する!採用活動の具体策／坂口律江(クロスハート幸・川崎)
2017年3月30日	クロワッサンムック 介護付き有料老人ホーム／クロスハート湘南台二番館



専務理事の片山ます江が、これまでの経験から考える「理想の老人ホーム」の在り方を、一冊の本にまとめました。

タイトル: 理想の老人ホームって何だろう ―常識にとらわれない介護70か条―
出版社: 草思社 著者: 片山ます江 発売日: 2016年9月21日内容: 出版社紹介ページより
これからの時代における介護と老人ホームのあり方。70の条件には、福祉の仕事に携わる人には「えっ」と思いそうな言葉や介護ビジネスの枠を超える大胆で斬新な提案が続きます。「福祉の世界なんてまったく知らなかったし、いまだに福祉のことがわからない」と語る“福祉の門外漢”ならではの人間中心の真摯なメッセージは、福祉に携わる人だけでなく、家族や自身の老い暮らしを考える上で必ずや参考になることでしょう。

LECTURE

講演一覧

2016年4月～2017年3月に取り組みを発表させて頂いた会をご紹介します。

2016年4月16日	介護保険について 城戸亜希子(主任介護支援専門員) 西ヶ谷ハイツ自治会サロン
2016年5月19日	介護事業における外国人介護人材活用手法 足立聖子(理事長) シニアビジネスセミナー／株式会社綜合ユニコム
2016年5月30日	虐待について 足立聖子(理事長) 高経協シンポジウム／高齢者住宅経営者連絡協議会
2016年6月2日	口腔機能管理の取り組み 館田有芽野(特別養護老人ホーム介護主任) 第15回かながわ高齢者福祉研究大会／社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、老人福祉施設協議会、第16回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会
2016年6月9日	活躍する海外人材 足立聖子(理事長) 新たな介護政策と人材確保／医療・福祉フォーラム実行委員会
2016年6月11日	避難所で役立つ介護技術と要援護者への関わり方 飯塚裕子、角田あさみ、福満理子、見上雄一、油井智明 庄戸小学校防災拠点・区
2016年6月22日	ヒートショック 紫竹恵子(看護師) 西ヶ谷ハイツ自治会
2016年7月27日	地域ケアプラザの役割と機能 城戸亜希子(主任介護支援専門員) 西ヶ谷団地自治会
2016年8月24日	地域ケアプラザの役割と機能 城戸亜希子(主任介護支援専門員) 西ヶ谷団地自治会
2016年7月28日	協働福祉講座 横尾かおり(特別養護老人ホーム施設長)、中村美佳(同介護主任) 本郷中央地区支えあい連絡会
2016年9月11日	避難所で役立つ介護技術と要援護者への関わり方 飯塚裕子、角田あさみ、福満理子、見上雄一、油井智明 庄戸小学校防災拠点・区
2016年9月18日	避難所で役立つ介護技術と要援護者への関わり方 飯塚裕子、角田あさみ、福満理子、見上雄一、油井智明 旧野七里小学校防災拠点
2016年9月28日	身体拘束防止 坂口律江(特別養護老人ホーム施設長) さいわい東地域包括支援センター
2016年10月11日	オレオレ詐欺・消費者被害について 油井智朗(社会福祉士) 西ヶ谷団地自治会サロン
2016年10月16日	健康講話 瀧本皖子(管理栄養士) 湘南ハイツ
2016年10月20日	「ノーリフトボリシー」を導入し、職員・ご利用者が安心できる施設をめざして 中村美佳(特別養護老人ホーム介護主任)、柏山敬穂(同) 中央労働災害防止協会
2016年10月26日	ヒートショックについて 城戸亜希子(主任介護専門員) 西ヶ谷団地自治会
2016年11月4日	日本の地域包括ケアにおける、居宅介護及び施設の役割 足立聖子(理事長) 2016年「居宅、通所及び施設型の介護サービス」国際会議／台湾 亞洲大学
2016年11月6日	自主防災訓練 阿部輝美(特別養護老人ホーム介護主任)、田中温(生活相談員) 湘南ハイツ防災部
2016年11月8日	生活整備支援事業及び生活支援コーディネーターの役割 城戸亜希子(主任介護支援専門員)、角田あさみ(地域交流コーディネーター) 上之町自治会サロン寿百々会
2016年11月10日	運営推進会議について 新倉恵(小規模多機能型居宅介護施設長) 鶴見区事業者連絡会、つばさねっと
2016月	お待ちください 高山薫(経営企画本部) お待ちください
2016年12月3日	起業家養成塾 足立聖子(理事長) NPO法人アジア起業家村
2016年12月13日	介護保険について 城戸亜希子(主任介護専門員) 上之町自治会
2016年12月17日	音楽プログラムについて 足立聖子(理事長) 上海交通大学120周年記念フォーラム／上海交通大学
2016年12月18日	グループホームとは 佐藤弘子(グループホーム施設長) 有限会社ビジネスピレイン
2017年2月20日	外国人介護職員も活躍できる職場づくり 足立聖子(理事長) 全国社会福祉協議会
2017年3月5日	多職種協働システム化の報告 林太郎(特別養護老人ホーム介護スタッフ) おいしく安全に食べ続けるために／川崎南部摂食嚥下・栄養研究会

検討委員会

新しい介護福祉士養成教育のあり方に関する検討会 足立聖子(理事長) 公益財団法人日本介護福祉士養成施設協会
介護ロボットの導入効果を最大化するルール形成研究会 村山和行(執行役員)、有山志津子(執行役員)、動里絵利奈(事業本部) 多摩大学 ルール形成戦略研究所



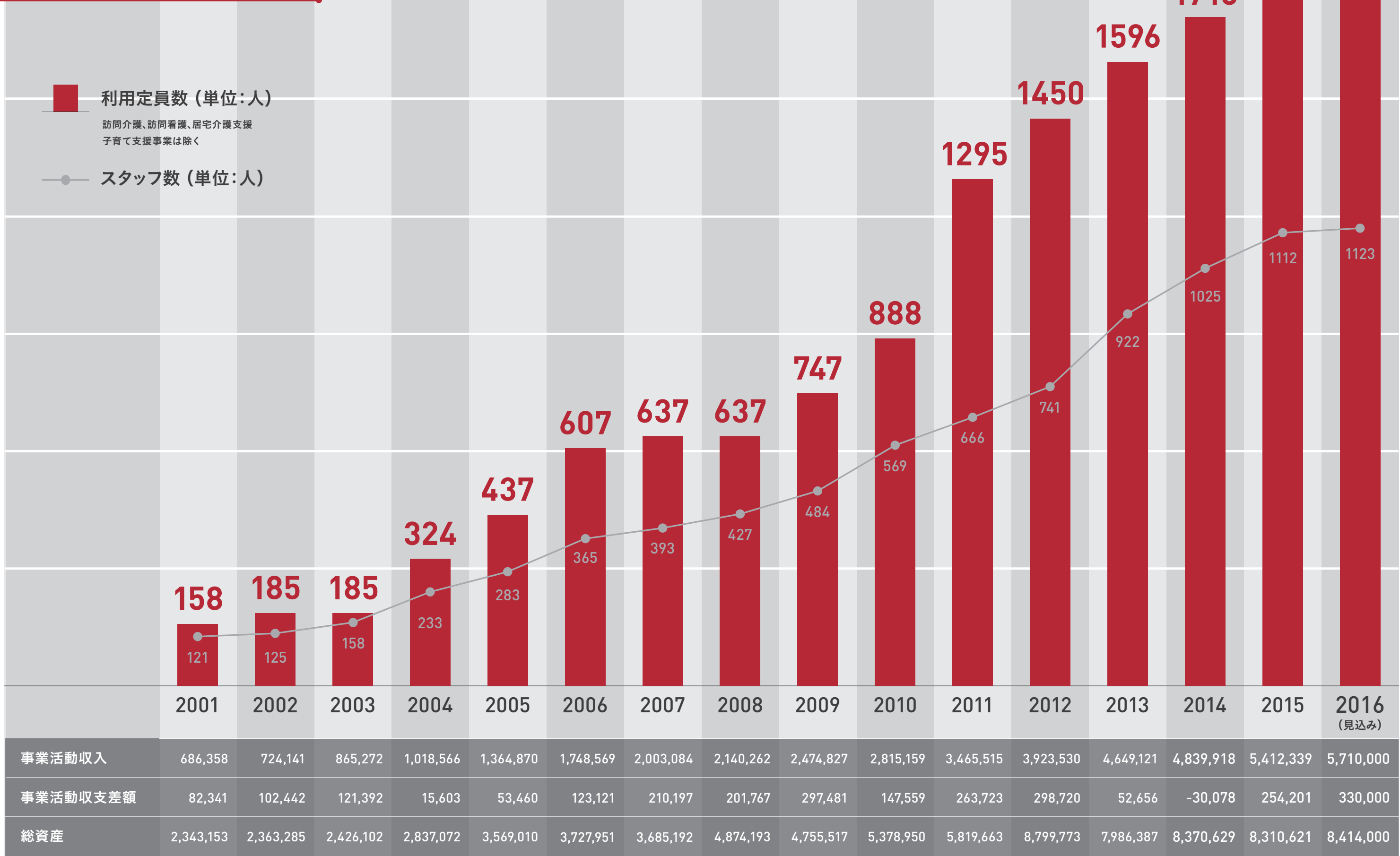
かながわベスト介護セレクト20に「クロスハート二階堂・鎌倉」が選出

主催: 神奈川県 日程: 2016年11月23日
介護職の魅力を発信する「介護フェアinかなわ」において、介護サービスの質の向上や人材育成、処遇改善で成果を上げた神奈川県内の介護サービス事業所20ヶ所を表彰する「かながわベスト介護セレクト20」が行われ、グループホーム「クロスハート二階堂・鎌倉」が選ばれ、奨励金として100万円を授与されました。

¥

財務ハイライト

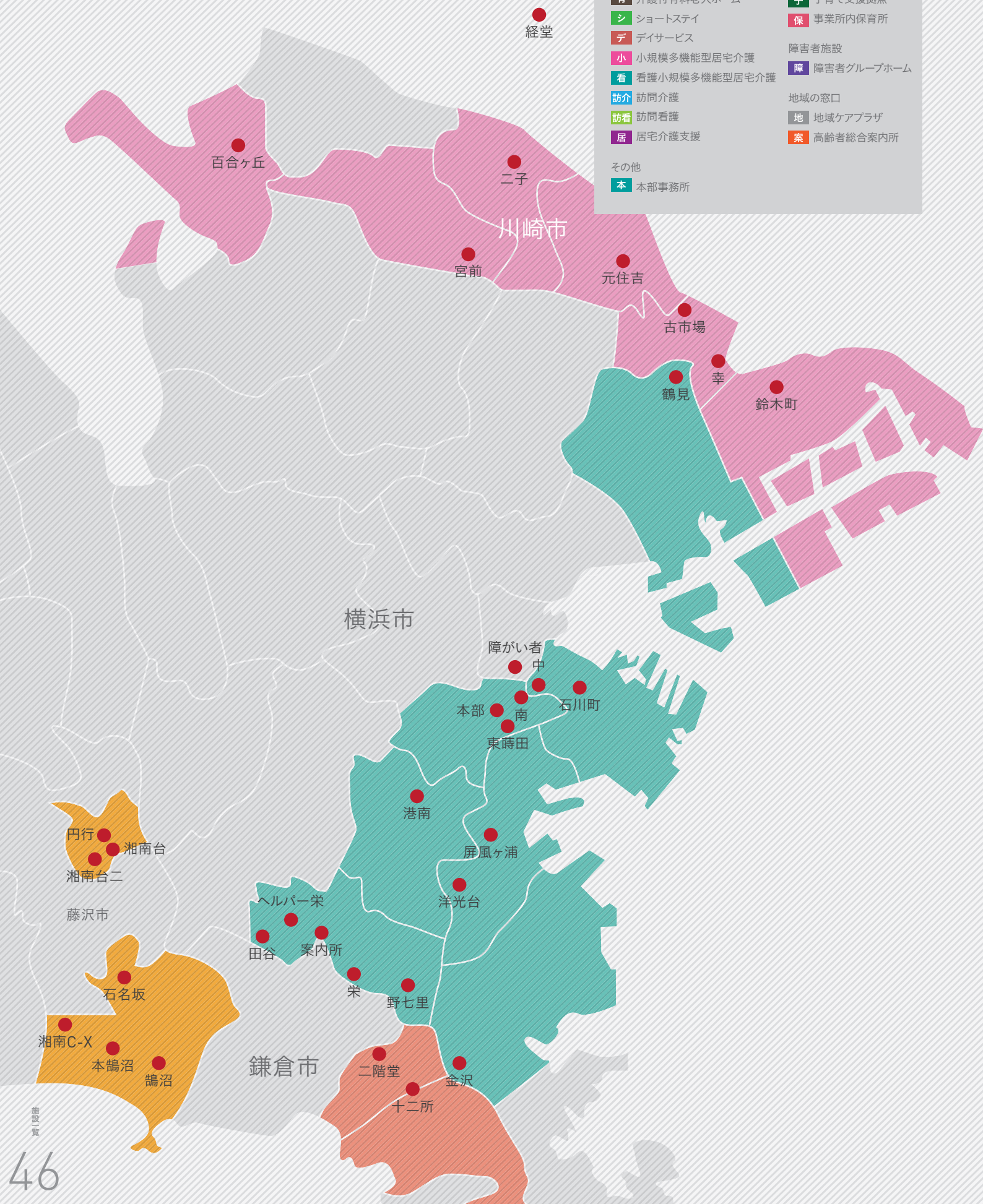
FINANCIAL HIGHLIGHTS



(単位：千円)

MAP

伸こう福祉会事業所マップ



アイコンについて	
高齢者施設	保育施設
特 特別養護老人ホーム	認 認可保育所
グ グループホーム	川 川崎認定保育園
有 介護付有料老人ホーム	子 子育て支援拠点
シ ショートステイ	保 事業所内保育所
デ デイサービス	障害者施設
小 小規模多機能型居宅介護	障 障害者グループホーム
看 看護小規模多機能型居宅介護	地域の窓口
訪介 訪問介護	地 地域ケアプラザ
訪看 訪問看護	案 高齢者総合案内所
居 居宅介護支援	
その他	
本 本部事務所	

川崎市	
麻生区	キディ百合丘・川崎 認
宮前区	クロスハート宮前・川崎 グ
高津区	キディニ子・川崎 川
中原区	キディ元住吉・川崎 認
幸区	キディ古市場保育園 クロスハート幸・川崎 特 シ 小
川崎区	キディ鈴木町・川崎 認

横浜市	
鶴見区	クロスハート鶴見・横浜 グ 小
中区	クロスハート中・横浜 グ キディ石川町・横浜 認
南区	クロスハートハイツ東蒔田 クロスハート南・横浜 障 本部事務所 グ 本
磯子区	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ デ 地 子育てキディ・洋光台 子
港南区	クロスハート港南・横浜 グ 看 訪看
栄区	クロスハート・ヘルパステーション栄・横浜 訪介 クロスハート田谷・栄 グ 高齢者総合案内所 本 クロスハート栄・横浜 特 シ デ クロスハート野七里・栄 特 シ 横浜市野七里地域ケアプラザ 地
金沢区	クロスハート金沢・横浜 グ デ

鎌倉市	
クロスハート二階堂・鎌倉	グ
クロスハート十二所・鎌倉	グ デ 小

藤沢市	
クロスハート円行・藤沢	グ
クロスハート湘南台・藤沢	有
クロスハート湘南台二番館	有 シ デ 保
クロスハート石名坂・藤沢	有 シ 認
キディ湘南C-X	デ
クロスハート本鶴沼・藤沢	認
キディ鶴沼・藤沢 本園／分園	グ

東京都	
世田谷区	アリスタージュ経堂 有

ご寄付のお願い

伸こう福祉会は、地域の皆さまが安心した日常生活を地域社会において営むことができるよう、「第一種社会福祉事業」、「第二種社会福祉事業」を主とした活動を行う社会福祉法人です。

皆さまの善意によるご寄付は、更なる福祉サービスの発展、充実に向けた活動への力強い後押しとなります。伸こう福祉会の理念・事業方針・事業計画等に共感いただける方からの幅広いご支援をお願いしております。

ご寄付の方法

(1) 事業所の窓口

お近くの事業所、本部事務所では、いつでも寄付を受け付けております。スタッフにお声がけください。

(2) 口座振込

金融機関 横浜銀行 茅ヶ崎支店(631) 普通 1663189

名義人 (77)シコウフクシカイ

※口座振込をご利用の際は、お振込み前にお電話下さい。

遺贈によるご寄付

「遺贈」とは、遺言を残し自分の財産を特定の人に分け与えることです。受取人として、社会福祉法人伸こう福祉会とご指定いただくことで、大切な方やご自身の遺産を地域福祉の発展に役立てることが可能となります。

ご寄付の手続きに関する問い合わせ先

社会福祉法人伸こう福祉会 経理担当

〒232-0011横浜市南区日枝町1-5 4階

伸こう福祉会本部事務所

TEL:045-260-0568

FAX:045-260-0570